

ダウン症や肢体不自由など  
出生後すぐに診断を受けた赤ちゃんや小さなお子さまに

# 音楽療法



「くりかえし」を楽しむことで身につくこと

## 1. 音を聴く力…周囲に関心を持つ

「音」への興味は、どんな年齢のどんな子どもも持っています。「音」から「先生の言葉」へ。そして周囲のお友だちへ。音楽を通して、周囲への関心が広がります。

## 2. 表現する力…「やってみよう」と思えること

無理にさせるのではなく、自分から「やってみよう」と思える時期を待ちます。音楽のタイミングに合わせて、声を「あー」と出してみたり、手や体を自分から動かしてみたり…。自発的な変化が生まれてきます。

## 3. コミュニケーション能力の向上…一緒に楽しむ

「音を聴く力」「表現する力」は「言葉を話すこと」「身体を動かすこと」を育て、コミュニケーション能力を養うことができます。

## \*プログラムの流れ\*

10:00 ～	来所 自由あそび	自分の好きなことをして遊ぶ。 集中してとりむ活動の前には大切な時間です。
10:30 ～	おかたづけ	「おかたづけしようね」「ナイナイしようね」言葉をかけながら、最後のひとつだけでも本人にさせてあげましょう。
10:45 ～	始まりの会	活動の始まりを知る、切り替えの時間です。「おはようのうた」の後、名前呼びをします。
11:00 ～	音楽療法	感覚あそび・即時反応 楽器あそび・ボールあそび 親子ふれあいあそび など…
11:30 ～	リラックス タイム	集中して活動した後は、ゆっくりのんびり、心と身体をリラックスさせましょう。
11:45 ～	帰りの会	活動の終わりを知る、切り替えの時間です。さようならのうたを歌っておしまいです。

お申し込み・お問い合わせ

(090)6395-7158

児童発達支援「ひかり」

